

## 事前に準備する「物」

- ①地区の地図
- ②透明シート
- ③油性ペン
- ④ベンジン・ティッシュペーパー
- ⑤セロテープ・メンディングテープ・布テープ・クラフトテープ
- ⑥はさみ(カッターでも可)
- ⑦付箋
- ⑧丸形のカラーシール

①地域の住宅地図や都市計画図などが手ごろです。

大きさは畳2枚くらいを目安とします。テーマ(災害)によって種類や縮尺を選ぶとよいでしょう。場合によっては拡大コピーをし、繋ぎ合わせて利用してください。

②地図の上に敷き、油性ペン等で書き込みを行います。

ホームセンター等のテーブルクロスコーナーで購入できます(200円/m程)。家庭用のラップでも代用できます。

③透明シートに様々な書き込みをするためです。

「太字・細字」両用の12色セットがよいです。(書き込む内容を色分けするため)

④消しゴムの代わり。薬局等で購入できます。

間違えた時に修正するためですが、マニキュアの除光液や液体のシップ薬も使えます。

⑤地図や透明シートを固定するためです。

⑥透明シート等の切断に使います。

⑦地図上の表示に使用したり、意見を書き出したりする時に使います。

⑧地図上に様々な情報を表示する時に使います。防災拠点や危険箇所等。

サイズや色など各種あると地図が多彩に表示できます。

あれば便利なものや場合によっては使用するもの

- ①模造紙・A3程度のコピー用紙
- ②名札
- ③カメラ
- ④紙粘土・爪楊枝
- ⑤既存のハザードマップ
- ⑥地域の古地図

①凡例を記載したり、意見を整理するときに付箋を貼るために使います。

②参加者の氏名等が分かると、話がしやすいです。

③訓練の様子や、完成した地図等を画像で記録しておく便利です。

④地図を少し立体的に表現する時に使います。お子様ランチの国旗のイメージです。

⑤地域の危険性や避難所等の確認に使います。

⑥国土地理院が有償で提供していますが、地域が昔はどんな地形だったかを知ることに使います。